

VMware Workstation 仮想ネットワークエディタ 抽出&設定

- バージョン

VMware Workstation Pro : 15.5.6

- 目次

1. [仮想ネットワークエディタの抽出 P.1～](#)
2. [仮想ネットワークの追加 P.3～](#)
3. [おまけ P.5](#)

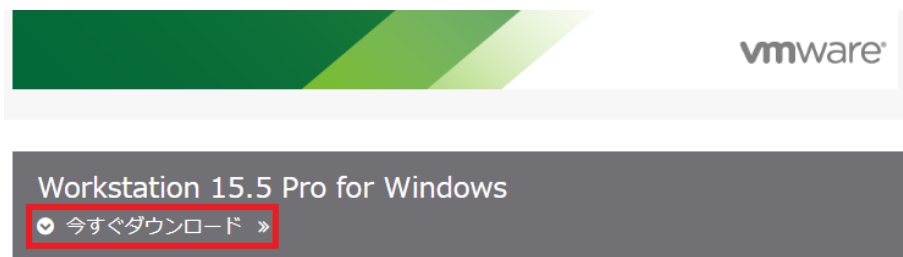
- 内容

1. 仮想ネットワークエディタの抽出

- ① VMware 公式サイトへアクセス(<https://www.vmware.com/jp.html>)。
- ② 画面上部「ダウンロード」→「製品の無償評価版およびデモ」内の「Workstation Pro」をクリック。



- ③ Workstation 15.5 Pro for Windows の下「今すぐダウンロード」をクリック。



- ④ VMware-workstation-full-15.5.6-16341506.exe のダウンロードが始まる。

- ⑤ ダウンロードした VMware-workstation-full-15.5.6-16341506.exe を実行する。
- ⑥ セットアップが起動するが、閉じずにおいておく。
- ⑦ 展開先フォルダを任意の場所に作成する。
- ⑧ 以下のコマンドを実行する。なお、{}内はバージョンによって変動するので各自確認すること（似たような 16 進数の羅列があるはずです）。

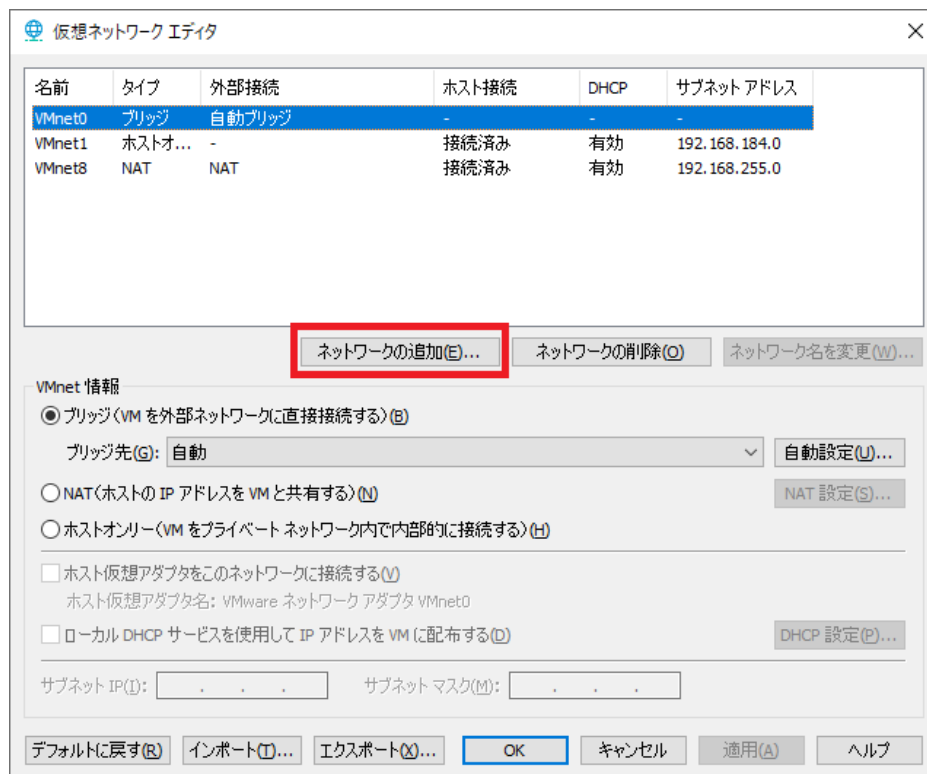
```
start /wait msixexec /a "%TMP%\{EA977A56-9030-471A-B2E1-04E1240E9570}~setup\VMwareWorkstation.msi" targetdir="⑦で作成したフォルダ(フルパス)" /qn
```

- ⑨ 展開先フォルダ内に VMware\VMware Workstation\vmnetcfg.exe があれば抽出完了です。

2. 仮想ネットワークの追加

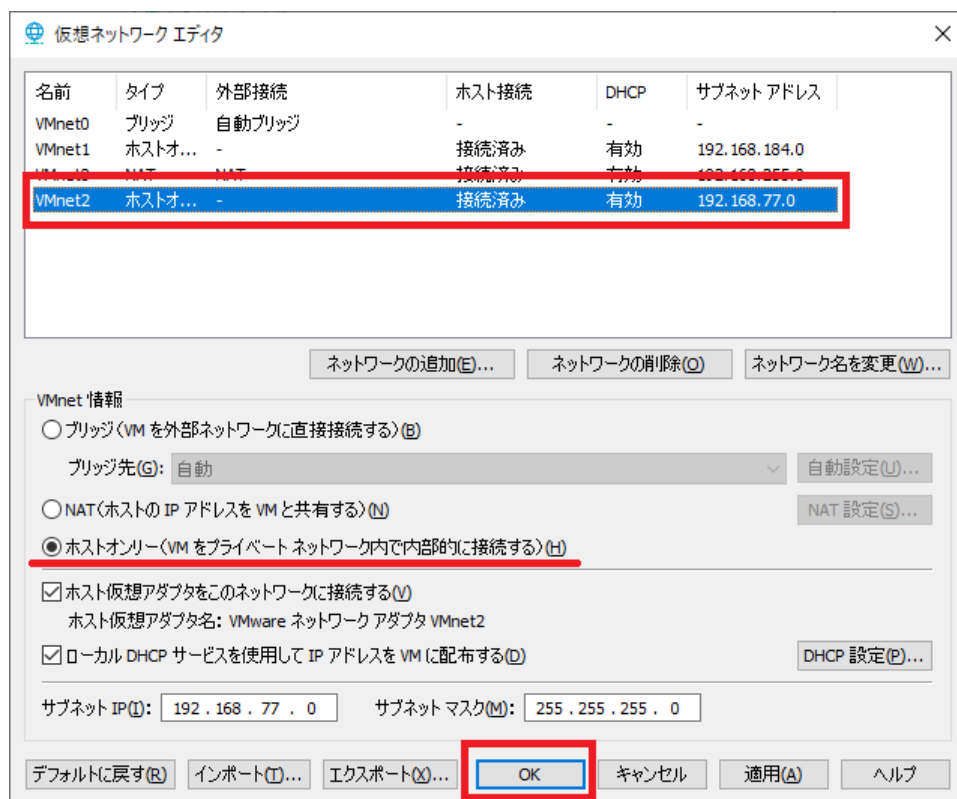
ここでは GNS3 上のルータと VMware Player 上の仮想マシン間の通信に使用するネットワークを追加します（VMnet1 は GNS3 が GNS3 VM との通信で使用するため、別が必要）。

- ① vmnetcfg.exe を **管理者権限** で起動する。
- ② 「ネットワークの追加」をクリック。



- ③ 「OK」をクリック。

- ④ 一覧から先ほど作成したネットワークを選び、「ホストオンリー」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックし適用して閉じる。



おまけ

ぶっちゃけ仮想ネットワークエディタ以外いらないので仮想ネットワークエディタが起動する最小限にする方法をご紹介します。

1. VMware Workstation 15 Player と合わせる場合

- ① vmnetcfg.exe を VMware Workstation 15 Player がインストールされているフォルダ（デフォルトは C:\Program Files (x86)\VMware\VMware Player）内にコピーする。
- ② 仮想ネットワークエディタを起動し、問題なく動作すれば完了。問題がある場合は下の手順後、残ったファイルを VMware Workstation 15 Player がインストールされているフォルダへコピーすれば完了（重複するものはコピーしなくて大丈夫です）。

2. 仮想ネットワークエディタ単体にする場合

- ① 仮想ネットワークエディタを起動する。
- ② VMware Workstation フォルダ内を全て削除する。
- ③ 使用中のファイル ウィンドウが出たら「すべての項目にこれを実行する」にチェックを入れ、「スキップ」をクリック。これで最小限にできました。

